

戦争を学んで

古堅小学校 六年一組 安次嶺 秀斗

私は最初、戦争はこわくて二度之行った。これは
いけないものだと思っ
ていました。ゲーム
センターの鉄ぼうのゲ
ームに近いのかなあ
と思っ
ていました。

しかし、日曜参観での
ビデオ学習で戦争は
おそろしい事だとわか
りました。なぜならと
う
こう隊と行って相手の
船に突っこんで行っ
てそのまま死ぬ人も
いたし、鉄ぼうの球
が花

火みたいのパンパン
うって見たのを見て
とても危ないし、こ
わいなあと思いま
した。

他の日には平和資料館
に行き勉強しました。
平和資料館がある系満
市のまぶには沖縄戦
が
終結した場所というこ
とも知りました。他
に
も資料館の中にはご
うの中のものもけい
もあ
りました。その中
はもけいだというこ
とがわか
っていても、くらい
しこわくてとても進
んで
ま
では入れないくらい
でした。私はこんな
も
けいの中もこわいの
に、本当のごうの中
に入

つていた人はとても可愛くてふるえていたんだらうなあと思ひました。

平和のいしじへ行つた時にむいおじいちやんを探しました。お父さんのおじいちやんは秀徳しゅうとくといつて私に名前も似てるし顔も少し似ていたと言つていました。そのむいおじいちやんもお母さんのおじいちやんも見つけました。

見つけたとき、色々な人や友達がいいたからはずかしくと言えなかつたけど、心の中では

「ありがとう。おつかれさま」
としか考えきれませんでした。今も生きています。色々な事を言ったり、話したりしたけれど、生きていなくなつたからこれだけしか言えませんでした。

その後見た平和祈念像はとても落ちついていてとても美味な感じの無い空気でした。こんなになんか落ちついているのが平和なのかなあと思ひました。

学芸会の劇「永遠の平和を願ひ続けては

題名のとおり平和を願う劇でした。劇にはい
 くこ先生のおじさんが体験した事なども入っ
 ていて、とてもリアルでした。私は戦争の劇
 もいいけど、最後の歌が良いなと思いました。
 なぜなら、相手に沖縄のことを知っています
 か？と問いかけて、分からないこともあるけ
 ど、それよりも知っていることがあると言っ
 ている所が良いからです。だから戦争のこと
 を知らないけど、今どんな世界が広がって
 いるかとかは一人一人違うから、その一人がだ

れよりも知っている事があるかもしれません。
 そのそれよりも知っていることを皆に伝え
 行き、これからの世界をもっと明るく平和に
 して行きたいと私は思います。
 だから小さな事からコツコツと努力してい
 きたいです。